

2014 年 10 月 21 日 C 班：岩崎・陳・西尾・田島

倉林 透・小林 正宏 『サブプライム問題の正しい考え方』中公新書 2008 年

1、目次

始めに

第1章 サブプライム問題とその余波

第2章 焦げ付いたサブプライムローン

第3章 国際金融市場への波及

第4章 日本の住宅金融システムへの示唆

第5章 今後の見通しと日本の課題

終わりに

2、著者紹介

倉橋透（くらはし・とおる） 現職；独協大学経済学部教授

1959 年 東京都に生まれる

1981 年 東京大学経済学部経済学科卒業 同年 4 月建設省入省

1984 年 ケンブリッジ大学大学院土地経済研究科修士課程修了

のちに、東京大学博士、建設省住宅局、経済企画庁等を経て、現職

小林正宏（こばやし・まさひろ） 現職；住宅金融支援機構住宅総合調査室主任研究員

1965 年 福岡県に生まれる

1988 年 東京大学法学部卒業

のちに、住宅金融公庫入庫、OECD マニラ事務所駐在、米国ファニーメイ特別研修等を経て 2007 年より現職

3、選定理由

- ① リーマンショックの引き金背景要因となったサブプライムローン問題について改めて見直す
- ② ①を踏まえ、サブプライム問題のリーマンショックへの影響を考察する
- ③ 最終的には本書の内容を踏まえ、「リーマンショックに対して未然に防ぐ 対策はなかったのか」を議論する